

**単元（題材）目標**

○聴覚障がいのある人のために手話というコミュニケーションの方法があることを知り、簡単な挨拶や自己紹介の仕方を学び、手話に親しむ。

**（１）実施時期**

10月実施

**（２）対象（学年等・人数）**

第2学年 5クラス 157名

**（３）指導者（教諭・外部講師等）**

本校教諭：第2学年 5名

外部講師：市内ボランティアサークル 「ほほ笑みサークル」 2名

**（４）実施内容 \*全2時間**

○「手話で自己紹介をしよう」（各学級）

・講師から手話の簡単な挨拶の仕方や指文字の名前の表し方を教えてもらい、実践した。

○「学んだ手話を発表しよう、手話で歌を歌おう」（学年全体）

・学んだ自己紹介を各学級の代表者が発表した。

・講師の真似をして、歌詞を手話で表しながら手話に親しむ。

楽曲「さんぽ」「Believe」

**（５）成果**

○聴覚障がい者の存在やその人たちの生活について身近に感じたことのない児童が多い中、手話で簡単な挨拶や自己紹介をする方法を知り、聴覚障がいのある人とのコミュニケーションの仕方を学ぶことができた。児童からは身の回りにあるものの言葉を指文字で表したり、授業開始の挨拶を手話で行ったり、意欲的に習った手話を使う姿も見られた。

○簡単な指文字の指導や歌唱をしながら身近に手話と触れ合い、児童の発達段階や学習内容を考慮して地域のボランティアサークルを活用することができた。